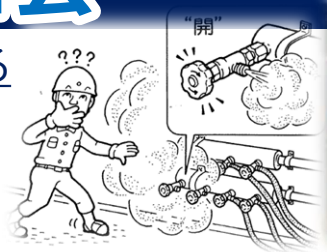
KYT(危険予知トレーニング)講習会

高圧ガスに特化したKYTで危険に対する感受性や問題発見能力を高めます。
高圧ガスに関する危険性や対策について解説します！



お客様の課題

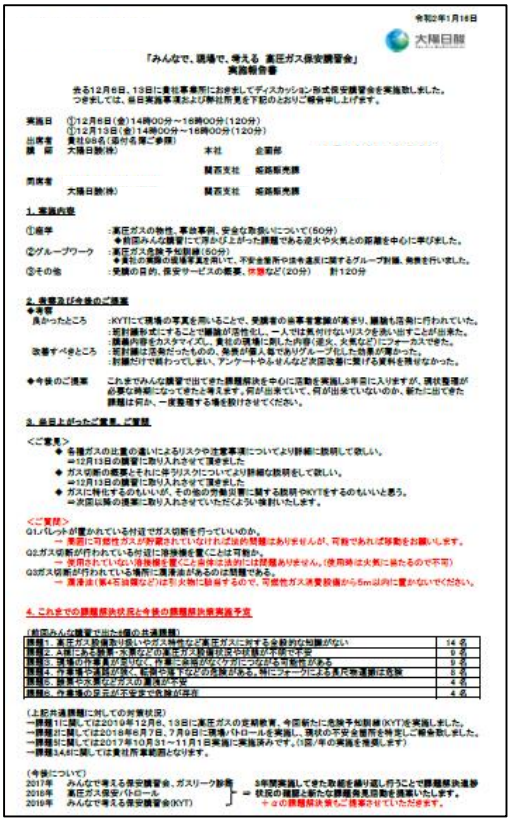
・法律や安全性に基づいた正しい高圧ガスの取り扱いがわからない。
・正しい状態に対して、なぜそうしなければならないかわかっていない。

内容・特徴

・高圧ガスの使用現場写真を用いて法令を守れていない状態や不安全な箇所などを見つけます。
・グループ内で討議、発表します。
・正しい状態や対策を解説します。

導入効果

・KYT講習後、報告書を提出します。
・保安教育の実施内容を記録します。



令和2年1月16日

大陽日酸

「みんなで、現場で、考える 高圧ガス保安講習会」
実施報告書

先る12月6日、13日に貴社事業所にお伺いしてディスカッション形式保安講習会を実施致しました。
つきましては、当日実施事項および弊社所見を下記のとおりご報告申し上げます。

実施日　①12月6日(金)14時00分～16時00分(120分)
　　②12月13日(金)14時00分～16時00分(120分)
出席者　貴社9名(添付名簿ご参照)
講　師　大陽日酸(株)　本社　企画部
　　関西支社　姫路販売課
同席者
　　大陽日酸(株)　関西支社　姫路販売課

1. 実施内容

①座学　：高圧ガスの物性、事故事例、安全な取扱いについて(50分)
　◆前回みんな講習にて浮かび上がった課題である逆火や火気との距離を中心に学びました。
②グループワーク　：高圧ガス危険予知訓練(50分)
　◆貴社の実際の現場写真を用いて、不安全箇所や法令違反に関するグループ討議、発表を行いました。
③その他　：受講の目的、保安サービスの概要、休憩など(20分)　計120分

2. 所感及び今後のご提案

◆所感
良かったところ　：KYTにて現場の写真を用いることで、受講者の当事者意識が高まり、議論も活発に行われていた。
　　：短冊形式にすることで議論が活性化し、一人では気付けないリスクを洗い出すことが出来た。
　　：講義内容をカスタマイズし、貴社の現場に即した内容(逆火、火気など)にフォーカスできた。
改善すべきところ　：短冊は活発だったものの、発表が個人毎でありグループ化した効果が薄かった。
　　：討議だけで終わってしまい、アンケートやふせんなどお国改善に関する資料を残せなかった。

◆今後のご提案　これまでみんな講習で出てきた課題解決を中心に活動を実施し3年目に入りますが、現状整理が必要な時期になってきたと考えます。何が出来ていて、何が出来ていないのか、新たに出てきた課題は何か、一度整理する場を設けさせてください。

3. 当日上がったご意見、ご質問

<ご意見>
◆ 各種ガスの比重の違いによるリスクや注意事項についてより詳細に説明して欲しい。
　⇒12月13日の講習に取り入れさせて頂きました。
◆ ガス切断の概要とそれに伴うリスクについてより詳細な説明をして欲しい。
　⇒12月13日の講習に取り入れさせて頂きました。
◆ ガスに特化するのもいいが、その他の労働災害に関する説明やKYTをするのもいいと思う。
　⇒次回以降の提案に取り入れさせていただくよう検討いたします。

<ご質問>
Q1.パレットが置かれている付近でガス切断を行っていいのか。
　→ 発回に可燃性ガスが貯蔵されていなければ法的問題はありませんが、可能であれば移動をお願いします。
Q2.ガス切断が行われている付近に溶接機を置くことは可能か。
　→ 使用されていない溶接機を置くこと自体は法的には問題ありません。(使用時は火気に当たるので不可)
Q3.ガス切断が行われている場所に高圧ガスがあるのは問題である。
　→ 高圧法(第45条)などは引火物に関するので、可燃性ガス消費設備から5m以内に置かないでください。

4. これまでの課題解決状況と今後の課題解決実施予定

(前回みんな講習で出た課題の共通課題)

課題1. 高圧ガス設備取り扱いやガス検査など高圧ガスに対する全般的な知識がない	14名
課題2. 人間による誤操作、不適切な高圧ガス設備取扱や経験が不足している	5名
課題3. 現場の作業員が忙しくて、作業に集中できなくなりながら可能性がある	9名
課題4. 作業場や通路が狭く、転倒や落下などの危険がある。特にフォークによる荷役物流通路は危険	8名
課題5. 酸素や水素などガスの漏洩が不安	4名
課題6. 作業場の足元が不安定で危険が潜在	4名

(上記共通課題に対しての対策状況)
→課題1に関しては2019年12月6、13日に高圧ガスの定期教育、今回新たに危険予知訓練(KYT)を実施しました。
→課題2に関しては2018年6月7日、7月9日に現場パトロールを実施し、現状の不安全箇所を特定し報告致しました。
→課題3に関しては2017年10月31～11月1日実施に実施済みです。(1回/年の実施を推奨します)
→課題3,4に関しては貴社所事範囲となります。

(今後について)
2017年　みんなで考える保安講習会、ガスリーク診断
2018年　高圧ガス保安パトロール
2019年　みんなで考える保安講習会(KYT)
＝3年間実施してきた取組を繰り返し行うことで課題解決進捗状況の確認と新たな課題発見活動を推奨いたします。
＋α の課題解決策もご提案させていただきます。

お客様の声

・今まで気にしていなかった危険性を知ることができてよかった。
・なぜそうしなければいけないのかがわかり、危険に対する意識を高めることができた。
・今後、正しくガスを取り扱おうと思った。

料金目安

30万円/回（半日・講師2人）

※Email：gaspromag@tn-sanso.co.jp
基盤事業支援ユニット営業企画部
星野・大屋

大陽日酸
The Gas Professionals